

## プラント状況確認結果(平成26年2月11日～2月18日)

平成26年 2月 18日

福島県原子力安全対策課

○ 平成26年2月11日～2月18日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡はありませんでした。

**また、平成25年11月18日15時18分、4号機使用済燃料プールからの燃料取出し作業が開始しました。詳細は[こちら](#)をご覧ください**

### (1) プラント状況 (2月18日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量 (m <sup>3</sup> /h)	4.5	4.5	4.4	—
		压力容器 下部温度(°C)	<a href="#">14.8</a>	<a href="#">24.2</a>	<a href="#">22.2</a>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) (A系)	1.74×10 <sup>-3</sup>	検出限界未満	検出限界未満	—
压力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系) (体積%)	0.03	0.02	0.09	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	11.5	10.6	8.8	14.2

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm<sup>3</sup>以下である。

### (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果 (2月18日午前10時)

最小 2.3 (MP-6) ～ 最大 4.4 (MP-3, 5) マイクロシーベルト/時 →[計測地点の地図](#)

### (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果 (2月17日採取分)

最小 検出限界未満 (6号機取水口前) ～ 最大 70 (3号機スクリーン(シルトフェンス内側)) Bq/ℓ

### (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果 (2月17日採取分)

5, 6号機放水口北側に30m : 1.8 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3 km : 0.64 Bq/ℓ

### (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果 (2月17日採取分)

西門 : 検出限界未満 ※検出限界値は約2×10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

### (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果 (2月17日採取分)

最小 検出限界未満 (3号機) ～ 最大 0.77 (2号機) Bq/cm<sup>3</sup> ※検出限界値は約0.02 Bq/cm<sup>3</sup>

(問い合わせ 024-521-1917)